

# 令和4年度 日向市水道事業会計決算の概要について

## 1. 総括

本市の上水道は、昭和25年4月に給水を開始し市勢の発展に伴う普及率向上と給水需要の増加に対応するため、昭和44年7月に権現原浄水場の運用開始、その後第6次までの拡張を経て現在の上水道が形成されました。

近年、給水人口は少子高齢化をはじめとする社会情勢の変動に伴い減少しており、単身世帯の増加等による給水戸数の増加がみられるものの水道事業の主な財源である給水収益は逓減傾向にあります。一方で、水道施設の耐震化や老朽化対策は水道の安定供給のための重要な課題であり、更新事業の更なる推進が求められるなか、給水収益の逓減と合わせて厳しい財政状況になっています。

このことを受け、令和3年度に日向市上下水道料金等審議会において料金改定が必要である旨の答申を受けた後、令和4年6月議会で「日向市水道事業給水条例の一部を改正する条例」が可決され27年ぶりに水道料金が改定されることとなりました。

さらに、コロナ禍や世界情勢の緊迫などの影響による物価高騰が続くなかで、一般家庭や事業所の負担軽減を図るため、新型コロナウイルス経済対策支援事業を活用した水道料金の基本料金免除事業を8月から半年間実施しました。

今後も持続可能な水道事業を実現するために、「日向市水道ビジョン」や本年度に中間見直しを行った「日向市水道事業経営戦略」に沿って健全経営に向けた取り組みを実施する必要があります。

## 2. 業務状況

令和4年度の上水道給水人口は53,965人で前年度より473人減少しましたが、給水戸数は23,529戸で前年度より45戸増加しています。また、給水区域内普及率は98.87%で前年度並みです。次に、本年度の年間総配水量は7,755,605 m<sup>3</sup>で前年度より144,080 m<sup>3</sup>減少し、年間総有収水量も6,812,524 m<sup>3</sup>で前年度より126,560 m<sup>3</sup>減少しています。また、有収率は87.84%で前年度と同値になりました。

区 分	令和4年度(A)	令和3年度(B)	比較 (A)-(B)	増減率(%)
1. 給水人口(人)	53,965	54,438	△473	△0.9
2. 給水戸数(戸)	23,529	23,484	45	0.2
3. 年間総配水量(m <sup>3</sup> )	7,755,605	7,899,685	△144,080	△1.8
4. 1ヶ月平均配水量(m <sup>3</sup> )	646,300	658,307	△12,007	△1.8
5. 年間総有収水量(m <sup>3</sup> )	6,812,524	6,939,084	△126,560	△1.8
6. 1ヶ月平均有収水量(m <sup>3</sup> )	567,710	578,257	△10,547	△1.8
7. 有収率(%)	87.84	87.84	△0.00	-

### 3. 財政状況

本年度の収益的収支（税抜）において、収益は1,102,994,637円で前年度より2,530,640円減少し、費用も931,303,658円と前年度より60,476,384円減少しましたが、当年度純利益は171,690,979円で前年度より57,945,744円増加しています。

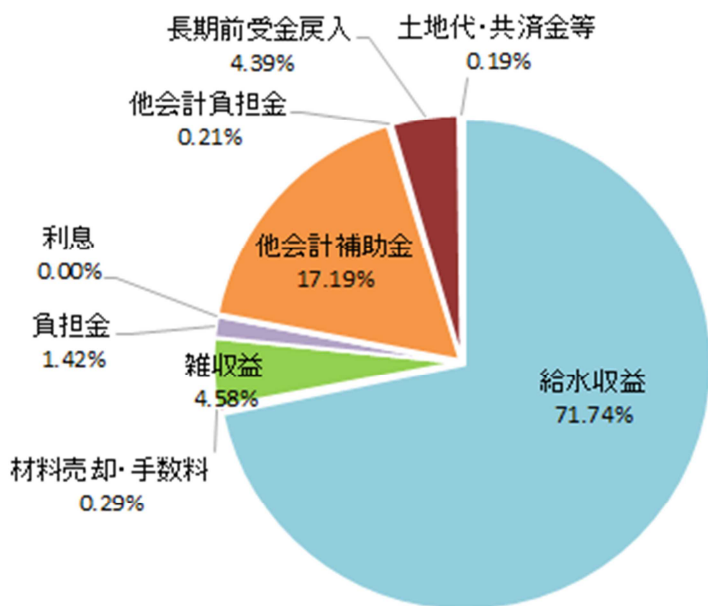
収益では、基本料金免除事業の影響により、給水収益が176,752,980円減少しましたが、当該事業の財源として他会計補助金が189,590,445円皆増しています。

費用では、営業費用が72,357,128円減少しており、これは、主に受水費、固定資産除却費などの減によるものです。また、営業外費用が11,720,224円増加していますが、これは、支払利息の減の一方、他会計補助金の受入に伴う控除できない消費税の発生による雑支出の増によるものです。

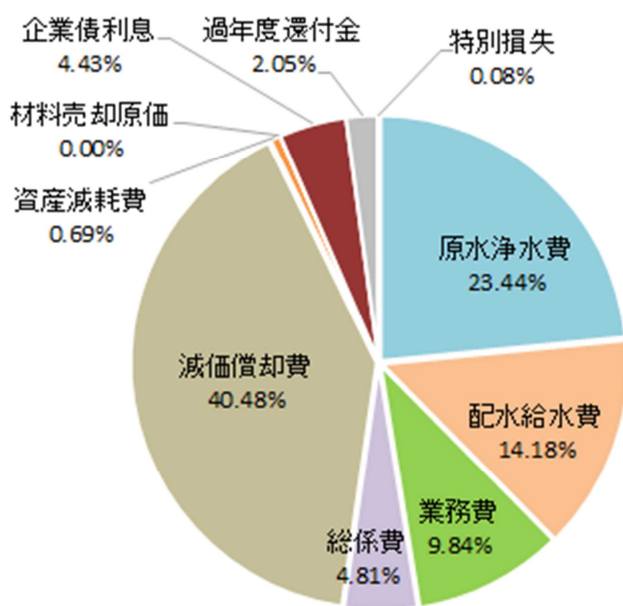
（単位：円、％）

区 分	令和4年度(A)	令和3年度(B)	比較 (A) - (B)	増減率
水道事業収益	1,102,994,637	1,105,525,277	△2,530,640	△0.2
営業収益	860,568,504	1,035,615,158	△175,046,654	△16.9
営業外収益	242,426,133	69,627,973	172,798,160	248.2
特別利益	0	282,146	△282,146	皆減
水道事業費用	931,303,658	991,780,042	△60,476,384	△6.1
営業費用	870,270,615	942,627,743	△72,357,128	△7.7
営業外費用	60,295,433	48,575,209	11,720,224	24.1
特別損失	737,610	577,090	160,520	27.8
純利益（収益－費用）	171,690,979	113,745,235	57,945,744	50.9

収益的収入 構成割合



収益的支出 構成割合

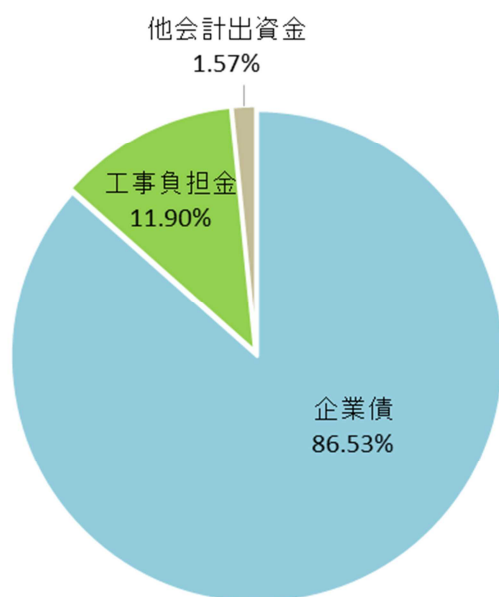


資本的収支（税込）においては、収入額 288,918,338 円に対し支出額は 642,943,151 円で、差引き収支不足額は 354,024,813 円となり前年度より 249,078,523 円減少しています。不足額については、損益勘定留保資金等で補てんしています。

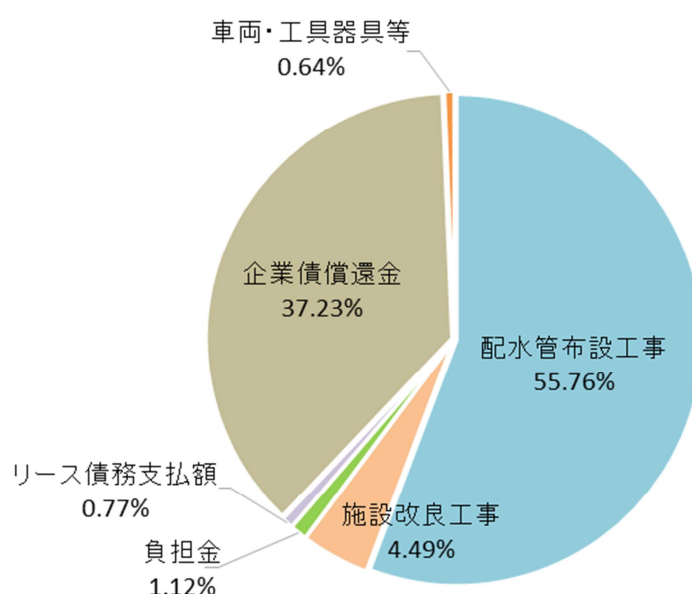
(単位：円、%)

区 分	令和 4 年度(A)	令和 3 年度(B)	比較 (A) - (B)	増減率
資本的収入	288,918,338	283,587,187	5,331,151	1.9
企業債	250,000,000	250,000,000	0	0.0
他会計出資金	4,549,277	8,425,121	△3,875,844	△46.0
工事負担金	34,369,061	25,162,066	9,206,995	36.6
国庫補助金	0	0	0	-
他会計補助金	0	0	0	-
固定資産売却代	0	0	0	-
資本的支出	642,943,151	886,690,523	△243,747,372	△27.5
建設改良費	403,584,370	578,860,394	△175,276,024	△30.3
企業債償還金	239,358,781	307,830,129	△68,471,348	△22.2
投資その他の資産	0	0	0	-
差引	△354,024,813	△603,103,336	-	-

資本的収入 構成割合



資本的支出 構成割合



#### 4. 企業債の状況

令和4年度

(単位：円)

区分	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
上水道事業	2,892,226,705	250,000,000	239,358,781	2,902,867,924

